



STILL ALIVE
国際芸術祭 あいち2022
2022.7.30-10.10

愛知県政記者クラブ 一宮日刊記者会
豊橋市政記者クラブ 安城市政記者クラブ
豊田市政記者クラブ 知多市政記者クラブ
中部芸術文化記者クラブ 同時

2022年3月17日(木)
国際芸術祭「あいち」組織委員会

国際芸術祭「あいち 2022」

眞田岳彦「あいち NAU プロジェクト」の参加者を募集します！

～愛知県内7つの美術館・博物館でトーク&ワークショップを開催します～

国際芸術祭「あいち 2022」参加アーティストの眞田岳彦は、7月の開幕に向けて「あいち NAU プロジェクト」を始動します。

このプロジェクトでは、「あいちの繊維を巡る」をテーマに、愛知県内の7つの美術館・博物館で、各地の土地や繊維にまつわるトークと参加者の皆で縄を緋(な)うワークショップを開催します。緋われた縄は、眞田が造形作品として一つにまとめ、一宮市役所に展示してまいります。

このたび、各美術館・博物館で開催するトーク&ワークショップの参加者を別紙のとおり募集します。

眞田岳彦「あいち NAU プロジェクト」トーク&ワークショップについて

1 開催概要

(1) 開催施設及び日時等 ※詳細は別添のチラシをご覧ください。

施設名	日時	定員	テーマ
豊橋市民俗資料収蔵室 (豊橋市美術博物館 附属施設)	4月16日(土) 14:00~16:00	30名	豊橋の玉糸がつなぐ人
一宮市三岸節子記念美術館	4月23日(土) 13:30~15:30	30名	機業と女性のちから
安城市歴史博物館 ※安城市民ギャラリー で実施	4月30日(土) 13:30~15:30	20名	安城の農業と繊維
愛知県陶磁美術館	5月1日(日) 13:30~15:30	30名	愛知の土と人
豊田市近代の産業とくらし 発見館	5月14日(土) 10:00~12:00	20名	豊田の養蚕とくらし
一宮市博物館	5月15日(日) 13:30~15:30	30名	一宮の繊維の変遷
知多市歴史民俗博物館	5月21日(土) 10:00~12:00	30名 ※小中学生対象 (大人だけの 参加も可)	知多の木綿と晒

(2) 開催時間 各回 120分程度

(3) 開催内容

- ・あいち NAU プロジェクトの紹介
- ・各館館長や学芸員、専門家による各地域の繊維についてのレクチャー
- ・各地の歴史や文化、人、繊維などについての対談や実演
- ・みんなで NAU: 参加者の皆でウールを「織う」ワークショップ

(4) 参加対象 どなたでも (一部対象が決まっている館もあります。)

(5) 参加費 無料

2 申込方法

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局 「あいち NAU プロジェクト」係
(nau@aichitriennale.jp) までメールでお申し込みください。

メールには下記の内容を記載してください。

件名：あいち NAU プロジェクト参加申し込み

本文：①氏名②年齢③参加を希望する施設名④メールアドレス

⑤日中連絡のつく電話番号⑥お住まいの地域（市区町村まで）

※郵便、FAX でお申し込みの場合は、必要事項を記入のうえ、問い合わせ先の住所または FAX 番号へお送りください。

申込開始 2022 年 3 月 17 日（木）

※一宮市三岸節子記念美術館、一宮市博物館は 3 月 25 日（金）

申込締切 各館のトーク&ワークショップ開催日の 7 日前まで

※先着順。定員に達し次第締め切ります。

3 アーティスト



真田岳彦 Sanada Takehiko

造形家／繊維研究家

1962 年 東京生まれ。幼少から画家であった父に絵画を習い、ISSEY MIYAKE でデザインを学び渡英。北極圏グリーンランド滞在を経て、彫刻家 Richard Deacon にアートを学び独立。20 代から世界各地を巡る異文化体験、国立民族学博物館外来研究員等の経験から新潟県、千葉県、東京都、兵庫県、広島県、熊本県など各地で、日本の伝統繊維再興プロジェクトを開催。また、国内外展覧会参加、企業へのアートディレクション、大震災後の心の支援活動、次世代育成組織主宰、視覚障がい者学習会等の活動を行う。現在、真田造形研究所主宰。女子美術大学・大学院教授。東北芸術工科大学客員教授。武蔵野美術大学、愛知県立芸術大学等の非常勤講師。真田塾主宰。

アーティストからのメッセージ

愛知に生きる人々の豊かさとは何か。それは約 120 万年前頃まで存在したとされる東海湖が培った土地の“ちから”によるものではないかと私は考えました。

湖畔に蓄積した土が陶磁文化を生み、広大な平野に植生する植物が繊維文化を育みました。人々はこの土地で生きるために左右の手をすり合わせて、土を「陶い」食器をつくり、植物を「織い」身体の器となる衣類をつくりました。また、桑を植えて養蚕を行い、棉を栽培して糸をつくり、編組織を行って暮らしをたて、その繊維関連技術は羊毛産業を育み、自動車、航空・宇宙産業へと可能性を広げました。

本企画では、愛知の人々の生命を育み継いできた各地域の繊維文化に焦点を当て、県内 6 都市 7 美術館・博物館とともに「今、を生き抜くアートのちから」を探求します。ぜひプロジェクトに参加し、あるいは作品を観賞して、愛知の豊かさを感じてください。

眞田岳彦



作品展示イメージ CG (一宮市役所)

4 主催等

主催：国際芸術祭「あいち」組織委員会

協力：豊橋市美術博物館、一宮市三岸節子記念美術館、安城市歴史博物館、
愛知県陶磁美術館、豊田市近代の産業とくらし発見館、一宮市博物館、
知多市歴史民俗博物館（開催日順）

5 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

(愛知県県民文化局文化芸術課国際芸術祭推進室内)

住所 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター内

電話 052-971-3111 FAX：052-971-6115

URL <https://aichitriennale.jp/>